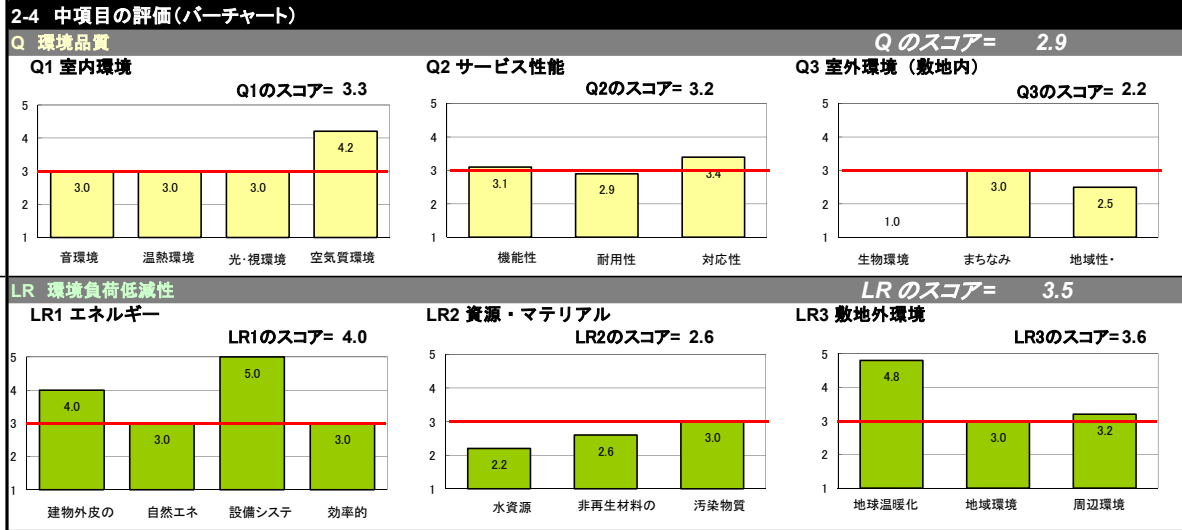
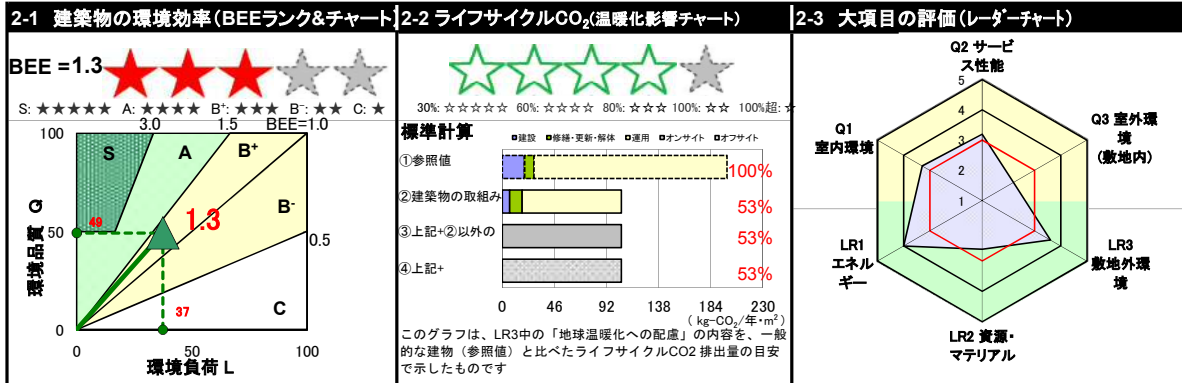


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)犬山城東マンション 新築工事	階数	地上11階
建設地	犬山市松本町一丁目148番	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域 法22条区域	平均居住人員	125 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年4月7日
敷地面積	1,212 m ²	作成者	株式会社BON設計
建築面積	388 m ²	確認日	2018年4月7日
延床面積	2,613 m ²	確認者	小島 一人



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">14.7 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.5	3.5	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり					-	-	4.0	4.0	-	0.50
1 階高のゆとり				階高2.9m以上	-	-	-	4.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ				各住戸をゆとりのある空間とした	-	-	-	4.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり					-	-	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性					3.0	1.00				-
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				-
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				-
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				-
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				-
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				-
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		独自③			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			2.0	0.50				-
3.2 敷地内温暖環境の向上					3.0	0.50				-
LR 建築物の環境負荷低減性										3.5
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				性能評価 省エネ等級4 取得	4.0	0.33				4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.17				3.0
3 設備システムの高効率化				[BEI][BEIm]=0.78	5.0	0.33				5.0
4 効率的運用					3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価					-	-				-
4.1 モニタリング					-	-				-
4.2 運用管理体制					-	-				-
集合住宅の評価					3.0	1.00				-
4.1 モニタリング					3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	2.6
1 水資源保護					2.2	0.15				2.2
1.1 節水					1.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00				-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-				-
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.63				2.6
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	-				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		-	3.0	0.28				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		-	1.0	0.28				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					4.0	0.34				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		躯体+軽量鉄骨+仕上材のディールを採用	4.0	0.34				-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				接着剤、内装材はF☆☆☆☆を使用	3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68				-
1 消火剤					-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	1.00				-
3 冷媒					-	-				-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		①		ライフサイクルCO2排出量は一般的な建物と同等レベルである	4.8	0.33				4.8
2 地域環境への配慮					3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止					-	-				-
2.2 温暖環境悪化の改善					3.0	0.67				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.33				-
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				-
3 交通負荷抑制		独自		敷地内に全住戸数分の駐車場と駐輪場を確保	4.0	0.25				-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25				-
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				-
1 騒音		独自			3.0	0.33				-
2 振動		独自			3.0	0.33				-
3 悪臭					3.0	0.33				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				-
1 風害の抑制					3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制					-	-				-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				-
3.3 光害の抑制					4.0	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				広告物照明の設置はなし	4.0	1.00				-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	-				-

重点項目スコアシート

(仮称)犬山城東マンション 新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:14.7%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)犬山城東マンション

計画上の配慮事項	
総合	敷地内の歩行通路は石貼りとし、敷地西側の歩行者用通路(2m)のインターロッキング敷きと一体感が出るよう配慮した 敷地の北側は工場、南側は住居用建物が並んでいるため、南側の駐車場部分はインターロッキング敷きとし、意匠性をもたせた
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を全面的に採用し、化学汚染物質による空気室汚染を回避した 開口部を大きく取り、十分な採光を確保した
Q2 サービス性能	階高を2.9m以上とし、空間にゆとりをもたせた
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内にできる限り緑地を設けるように努めた
LR1 エネルギー	照明器具の消費電力を抑え、制御方法を工夫した
LR2 資源・マテリアル	節水型便器、水栓を使用した
LR3 敷地外環境	駐車場、駐輪場スペースの確保した
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。